

1 新規就農者の総合的なスキルアップとサポート体制強化

【概要】

- 新規就農者等の確保・育成を図るため、下北地域新規就農支援協議会を設置し、支援している。
- 主力作物である夏秋いちご生産者の栽培技術の向上を図った。
- 冬場の所得向上に向けてたらのめの栽培技術の向上を図った。

【背景・課題】

- 非農家出身の新規就農者が多く、栽培技術、経営管理能力の習得が不十分なため、所得目標を達成できない人が多い。
- 夏秋いちごは夏期の高温や土壌病害の発生等により収量が低下している。
- 冬場の収入源としてたらのめ栽培に関心を示す新規就農者が増えており、技術習得に向けた指導が必要となっている。

【普及指導活動の内容】

- 下北地域新規就農支援協議会を開催し、情報の共有方法や経営管理能力向上研修会の内容、支援のあり方について意見交換した。
- 経営開始5年未満の農家をリストアップし、個別巡回指導したほか、個別指導記録簿をJAに情報提供した。
- 複式簿記の基礎及び青色申告、パソコンを活用した簿記記帳、スマホアプリを活用した労務管理について研修会を開催した。
- 夏秋いちご栽培情報紙を発行し、病虫害防除や暑熱対策の指導に活用したほか、1作ごとの土壌消毒を指導した。また、栽培管理や鳥獣被害防止に係るセミナーを開催した。
- たらのめ生産者を個別巡回指導したほか、要所の作業については現地研修会を開催して作業の理解を深めた。

【成果】

- 協議会において関係機関、団体との情報共有が図られ、連携が強化された。
- 個別巡回指導や研修会を通して技術習得や経営管理能力が向上した。
- いちご生産において遮光資材による高温対策が実施されたほか、7戸で適切な土壌消毒が実施された。
- 新規就農者2名のたらのめの収穫が始まり、令和7年度出荷数量は目標の1.3倍となった。

【対象名】

新規就農者、就農希望者等（計19名）、川内町山菜生産組合（6名）



第3回経営管理能力研修会（1/15）



しもきた夏秋いちごセミナー（7/2）



たらのめ現地研修会（5/21）